

ビジネスに適した Red Hat OpenShift エディションの選び方

Red Hat OpenShift とは

Red Hat® OpenShift® は、統合されたエンタープライズ向けハイブリッドクラウド・アプリケーション・プラットフォームであり、Kubernetes をベースとしています。このプラットフォームは、アプリケーションのモダナイズ、デプロイ、管理、拡張などのハイブリッドクラウド運用をサポートする安定した基盤を提供し、ハイブリッドクラウド環境全体で一貫したエクスペリエンスを実現します。

Red Hat OpenShift の導入や使用方法には幅広い選択肢があり、また、さまざまな管理レベルに対応しています。これにより、デプロイする方法や場所など、ビジネスとそのニーズに最適なものを柔軟に選択できます。

望む場所に、望む方法でアプリケーションを構築

Red Hat OpenShift は、任意のインフラストラクチャ上でアプリケーションを市場に投入するために必要なサービス一式を備えており、さまざまなデプロイメントパターンと環境をサポートしています。これにより、オンプレミス、クラウド、またはネットワークエッジやデバイスエッジなどの導入先や使用方法を制限なく、柔軟に選択することができます。

Red Hat OpenShift には 2 つのデプロイメント・オプションがあります。

- ▶ **Red Hat OpenShift クラウドサービス**：Amazon Web Services (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud、IBM Cloud との共同サービスとして提供される、フルマネージド型のアプリケーション・プラットフォームです。クラウドプロバイダーはお客様が選択できます。
- ▶ **セルフマネージド Red Hat OpenShift**：オンプレミス、パブリッククラウド、プライベートクラウド、ネットワークエッジなどのあらゆるインフラストラクチャにデプロイでき、一貫したユーザーエクスペリエンス、運用管理、セキュリティを実現するアプリケーション・プラットフォームです。Red Hat OpenShift Platform Plus、Red Hat OpenShift Container Platform、Red Hat OpenShift Kubernetes Engine の各エディションがあります。

Red Hat OpenShift クラウド サービス

- ▶ アプリケーションを迅速に構築、デプロイ、実行、拡張
- ▶ 運用を単純化し、インフラストラクチャの管理ではなくイノベーションに集中
- ▶ トップクラスのクラウドプロバイダーと共同で提供されるファーストパーティ・ソリューション



フルマネージドですぐに開始できる

セルフマネージド OpenShift

- ▶ 環境を問わず実行できる柔軟性でアプリケーションをデプロイ
- ▶ プラットフォームを完全に制御しカスタマイズ



必要な場所にデプロイできる

一貫した OpenShift エクスペリエンス

Red Hat OpenShift ポートフォリオの包括的な概要

それぞれに利点と考慮すべき点があり、アプリケーション開発を進めるにつれてさまざまなニーズが生じる可能性があります。組織に適した Red Hat OpenShift を選択するためには、まず組織のニーズを評価することが重要です。適したバージョンは、パブリッククラウドでのフルマネージド、オンプレミス、クラウド、またはエッジでのセルフマネージド、あるいは両方の組み合わせであるかもしれません。

Red Hat OpenShift クラウドサービス：Red Hat OpenShift クラウドサービスを使用すると、アプリケーション・プラットフォームの管理責任を負わずに、短時間で使い始め、アプリケーションの大規模な構築に集中することができます。サービスはそれぞれ Red Hat (および該当する場合はクラウドパートナー) がサポートし、プラットフォームのデプロイ先に関係なく、一貫したユーザーエクスペリエンスがもたらされます。

Red Hat OpenShift クラウドサービスは、フルマネージドのターンキー型ファーストパーティ・ソリューションとして提供され、次のものが含まれます。

- 1. Red Hat OpenShift Service on AWS：**Red Hat と Amazon Web Services (AWS) による共同サービスで AWS インフラストラクチャにデプロイされます。
- 2. Microsoft Azure Red Hat OpenShift：**Red Hat とマイクロソフトによる共同サービスで、Microsoft Azure インフラストラクチャにデプロイされます。
- 3. Red Hat OpenShift on IBM Cloud：**Red Hat と IBM による共同サービスで、IBM Cloud インフラストラクチャにデプロイされます。
- 4. Red Hat OpenShift Dedicated：**Red Hat が管理しサポートするサービスで、AWS インフラストラクチャまたは Google Cloud インフラストラクチャでホストできます。

これらのクラウドサービスはそれぞれ [Red Hat サイト信頼性エンジニア \(SRE\)](#) がサポートしています。SRE は、アプリケーション・プラットフォームを含む IT システムのセキュリティ、可観測性、パフォーマンス、スケーラビリティ、コスト最適化の継続的な管理を担当する Red Hat OpenShift のエキスパートからなるチームです。また、SRE は自動化された分析情報を提供し、ワークロードのパフォーマンスを向上させ、クラウドネイティブ開発のベストプラクティスをアドバイスします。

[Red Hat OpenShift クラウドサービスの詳細を見る](#)

Red Hat OpenShift Platform Plus： 信頼できる方法で、完全な制御性を確保しながら、一貫してハイブリッドクラウド全体に拡張できるアプリケーション・プラットフォームをお探しでしたら、OpenShift Platform Plus をお選びください。OpenShift Platform Plus には、複数のインフラストラクチャにわたって機能するマルチクラスタ管理、セキュリティ、コンプライアンス、アプリケーション、およびデータ管理のソリューションが含まれており、ソフトウェア・サプライチェーン全体で一貫性を提供します。

プラットフォームを完全に制御できるため、ビジネスニーズに合わせてカスタマイズし、オンプレミス、パブリッククラウドまたはプライベートクラウド、ネットワークエッジなど、組織に最も適した環境にデプロイできます。これにより、すべての環境においてクラスタおよびアプリケーションの管理作業の一貫性を確保しながら、大幅な拡張が可能になります。

[OpenShift Platform Plus の詳細を見る](#)

Red Hat OpenShift Container Platform： コンテナや Kubernetes を初めて使用する場合や、小規模プロジェクトや単一チーム向けに設計されたソリューションをお探しの場合は、OpenShift Container Platform が最適な選択肢でしょう。OpenShift Container Platform は、ハイブリッドクラウド環境におけるセルフマネージド型のアプリケーション・プラットフォーム・エクスペリエンス、迅速なインストールプロセス、および高品質なアプリケーションの開発、モダナイズ、デプロイ、管理、拡張を支援するプロダクション対応のツールと機能を提供します。

[OpenShift Container Platform のトライアルを無料で利用する](#)

	Red Hat OpenShift クラウドサービス	セルフマネージド Red Hat OpenShift
管理	Red Hat と各クラウドパートナー (AWS、Microsoft Azure、IBM Cloud、または Google Cloud)	セルフマネージド型
設定	Red Hat と各クラウドパートナーがベストプラクティスと専門知識に基づいて、設定、セキュリティパッチ、アップデートに関する決定を下す	インフラストラクチャと設定に関する決定はすべてユーザーである組織が行い、組織のビジネスニーズに応じてカスタマイズが可能

デプロイ

Red Hat OpenShift Service on AWS : AWS インフラストラクチャにデプロイ

Azure Red Hat OpenShift : Microsoft Azure インフラストラクチャにデプロイ

Red Hat OpenShift on IBM Cloud : IBM Cloud インフラストラクチャにデプロイ

Red Hat OpenShift Dedicated : AWS または Google Cloud インフラストラクチャでホスト

パブリッククラウド、プライベートクラウド、オンプレミス、ネットワークエッジ、またはこれらを組み合わせた環境にデプロイ可能

コスト構造

従量課金制モデル、または月間契約や年間契約を選択可能

Red Hat を通じてサブスクリプション料金を支払うか、クラウドプロバイダーのマーケットプレイスを通じて時間単位、月単位、または年単位で利用可能

サポート

Red Hat と各クラウドパートナーが共同でサポート

Red Hat がサポート

メリット

インフラストラクチャやプラットフォームを自社で立ち上げる必要がないため、チームがアプリケーションの構築に集中できる

プラットフォームを完全に制御しながら、ハイブリッドクラウドやネットワークエッジ、デバイスエッジで実行できる柔軟性

主な検討事項

組織のニーズに合わせて環境をカスタマイズできない

ユーザー自身がインフラストラクチャとプラットフォームの管理責任を負う

Red Hat OpenShift を導入する方法や場所に関係なく、アプリケーションの構築、デプロイ、管理、拡張において一貫したエクスペリエンスを確保できます。

ビジネスに適したオプションを選択するには

決断は簡単ではないかもしれませんが、ビジネスに適した Red Hat OpenShift のオプションを選択するには、まず次の 3 つの点を考慮します。

1. どこでプラットフォームを実行したいか

セルフマネージドの OpenShift Platform Plus は、ハイブリッドクラウド上のどこにでもアプリケーション・プラットフォームを柔軟にデプロイできるようにカスタマイズされています。

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes と Red Hat Advanced Cluster Security for Kubernetes が含まれており、セキュリティに重点を置きながら、ハイブリッドクラウド全体で一貫して拡張することができます。[Red Hat Advanced Cluster Management](#) と [Red Hat Advanced Cluster Security](#) には無料トライアルがあるので、これらの補足的なソリューションが組織のビジネスニーズに適合するかをまず確認することを検討してください。

すでに AWS、Microsoft Azure、IBM Cloud、または Google Cloud を使用していて、そのパブリッククラウド上でフルマネージドのターンキー型アプリケーション・プラットフォームが必要な場合は、Red Hat OpenShift クラウドサービスが最適な選択肢です。また、このクラウドサービスでは、[AWS の確約利用料](#)、[Microsoft Azure Consumption Commitment](#)、[Google Cloud の確約利用料](#)、[IBM Cloud Enterprise Savings Plan](#) など、すでに契約済みのパブリッククラウド利用料を使った購入も可能です。

2. プラットフォームを自社で管理できるか、または管理する必要があるか

大きな考慮点として、アプリケーション・プラットフォームを自社で管理するためのリソースがあるかどうか、または自社で管理する必要があるかどうかがあります。プラットフォームの管理は、多くのスタッフとリソースを必要とする大がかりな作業になる可能性があります。組織にリソースがない場合、または必要なリソースを費やすことを組織が望んでいない場合は、フルマネージドの Red Hat OpenShift クラウドサービスが最適でしょう。

逆に、インフラストラクチャを完全に制御したい場合や、機密性の高いデータや業界固有の要件によりコンプライアンスやセキュリティに関する特別なニーズがある場合は、セルフマネージド Red Hat OpenShift がビジネスに適した選択肢となる可能性があります。

3. デプロイとサポートの柔軟性がどの程度必要か

多くの組織は、パブリッククラウド、オンプレミス、ネットワークエッジなどの複数の環境にアプリケーションをデプロイしています。それらのアプリケーションのニーズは異なる場合があるため、さまざまな Red Hat OpenShift クラウドサービスを組み合わせて採用する組織もあれば、Red Hat OpenShift クラウドサービスとセルフマネージドの OpenShift サービスを組み合わせて採用する組織もあります。Red Hat OpenShift のデプロイメント・オプションは、ビジネスのニーズに応じた柔軟性を提供します。

Red Hat OpenShift を今すぐ使ってみる

マネージドサービスを選択するか、セルフマネージド型を選択するかにかかわらず、Red Hat OpenShift のすべてのオプションでアプリケーションの構築、デプロイ、管理、拡張のための一貫したエクスペリエンスが提供され、組織はイノベーション、価値の構築、顧客への最高のサービスの提供に集中することができます。

[OpenShift Service on AWS](#) または [OpenShift Platform Plus](#) のデモをお試しください。あるいは Red Hat OpenShift の利用開始について [Red Hat に今すぐ相談](#) ください。



Red Hat について

エンタープライズ・オープンソース・ソフトウェア・ソリューションのプロバイダーとして世界をリードする Red Hat は、コミュニティとの協業により高い信頼性と性能を備える Linux、ハイブリッドクラウド、コンテナ、および Kubernetes テクノロジーを提供しています。Red Hat は、クラウドネイティブ・アプリケーションの開発、既存および新規 IT アプリケーションの統合、複雑な環境の自動化および運用管理を支援します。[受賞歴のある](#) サポート、トレーニング、コンサルティングサービスを提供する Red Hat は、[フォーチュン 500 企業に信頼されるアドバイザー](#)であり、オープンな技術革新によるメリットをあらゆる業界に提供します。Red Hat は企業、パートナー、およびコミュニティのグローバルネットワークの中核として、企業の成長と変革を支え、デジタル化が進む将来に備える支援を提供しています。

アジア太平洋

+65 6490 4200
apac@redhat.com

オーストラリア

1800 733 428

インド

+91 22 3987 8888

インドネシア

001 803 440 224

日本

03 4590 7472

韓国

080 708 0880

マレーシア

1 800 812 678

ニュージーランド

0800 450 503

シンガポール

800 448 1430

中国

800 810 2100

香港

800 901 222

台湾

0800 666 052

f fb.com/RedHatJapan
twitter.com/RedHatJapan
in linkedin.com/company/red-hat